

# 関東高田組散歩班行状記



「なんて言いつつ二回り。胸突坂はよしにして、整備が終わったばかりの新江戸川公園へ。元は細川家下屋敷の回遊式庭園。起伏に富んだ造りと雪吊りなどを眺め、今日の散歩はお上品なのだ。幽霊坂を登って目白通り

奇跡の晴れ男二名のお陰で絶対お天気の散歩会。今年の歩き初めなので控え目にと、有楽町線江戸川橋駅に降り立つ高田先生、松村さんに我ら素人三人の五人組。いきなり「懐かしいねえ！」と感慨深げな先生。新婚当時に住んだのが、すぐ近所の山吹町なのだ。

橋を渡って「あの頃は二十四時間忙しくて、歩いたこともなかった」江戸川公園をゆるゆると。桜の時期は大騒

ぎの神田川沿いを進めば、椿山荘の庭園入口。旧山県有朋邸を軽く散策し、そのお隣は芭蕉庵。小振りだけど野趣溢れる庭を、「ほら松ちゃん、一句詠まない



に出、「あさが来た的」日本女子大やら、「電波少年的」田中角栄邸やらを冷やかして、高田一丁目バス停から鬼子母神の参道へとご案内。商店街を抜け、手塚治虫ゆかりの並木ハウスを愛で、キアスマ珈琲の二階で一服。目と鼻の先の鬼子母神をお参りすればゴールイン。後はお楽しみ、都電で庚申塚に直行して、お約束ときわ食堂で祝杯という歩き初め。

# 高野金次郎商店

親切第一 平成28年2~3月号

版元:東京ペンギン堂本舗・高野ひろし 豊島区北大塚2-26-2

fax:03-3917-1949 RXM04421@nifty.com

協力:千駄木電脳研究所、築地河岸工房

関連ウェブ:各種検索エンジンで「東京ペンギン堂本舗」検索すると

関連ウェブに辿り着けます。http://jpg.arrow.jp/

## 勝手にお気に入り5

銀の輔がツーショットし  
がちな銀座のスポット

- ・天賞堂の天使像
- ・泰明庵前の路地
- ・歌舞伎座向かい側の道路
- ・サエグサの正面ウィンド
- ・ベスト5に負けない物件
- ・花椿通り側の資生堂
- ・シヨウウィンド、京橋会館
- ・裏の路地、銀座通沿いの植
- え込みにある町名表示板

# 銀の輔銀座千枚



来てしまつ。

街は人も建物も道もセットで街なんだ。傍から変に見えても、幸せな三位一体はいっぱいあるね。でも本当のころは、きつとそ

気が付いたら銀座病院も無くなっちゃって、かと思えば数寄屋橋阪急の後釜にガラスピカピカな東急プラザが出来ちゃって、そしたら松坂屋はどうなるの？

と言いたい感じの、観光バスと作業者行き交う銀座なんだ。でも佇まいも味わいも全く変わらなない青汁スタンドもきちんと営業中な銀座でもある。

消えるのか消えない

のか？壊しちゃうのか？守るのか？僕には何も分からない。九丁目の隅っこ、コンクリカプセルはめ込みマンションと、古めかしい路地の警報機に行く末が気になって、時々確認に



街にしか分からない、それをゆがみと思うか幸せと思うかね。でも僕は面白いと思って、銀座を歩いちゃうんだけどさ…。

\*

四月になったら、僕が大好きなそんな銀座の写真展をするよ。「銀座はいつも僕の街、銀の輔と歩く春夏秋冬」。僕と銀座の一年をよろしくね！



# ワイルドなコーヒーはワイルドに探せ

コーヒード豆屋の名前がワイルド珈琲なら、こっちもワイルドに買いに行かねばならぬ。かと言ってハーレーもトライアンフも持っていない身でワイルドと言え

ば、山手線と総武線を使い継いで焙煎工場のある浅草橋に行かず、いつ終わるか分からぬ工事三昧な大塚駅(い)を後にして、ひたすらに歩く原始的アクセス。南口から大通りを真っ直ぐに、丸ノ内線新大塚駅を越えて春日通りと合体し、富士見坂から護国寺の遙か彼方、昭和の頃なら本当に富士山が見えたと思ひ出しつつ不忍通りを横切って、漢方薬局に大黒湯、正門の先に並木道が続くお茶の水女子大の優雅な風情には靡かず、ちよいと裏手のマルツアイト、天然酵母ハー

ド系あんに靡きつつ、イカした大塚の幟につられて牛天神。牛を撫でて素敵

な煉瓦塀を愛でてから、とって返して富坂下り、春日局像から象印電気ポットみたいな文京区役所へ。7837歩

ポット右折し嘉納治五郎像を拜見しての白山通り、春日局ゆかりの出世稲荷で渾身の祈願をして、理化学機器会社集結の沓岐坂を一気に登り詰め、ちよいと本郷通りをかすめ、蔵前橋通りへと突入。取って付けたようなサッカー通りを鼻で笑い飛ばし、かの名人桂文楽ゆかりの江戸千代紙・小林とセツのおりがみ会館

を通過して妻恋坂を下れば、神田明神裏参道(に)。流石に素通りはできないので、裏口からスイマセン参詣。11300歩

界隈じゃ湯島天神と双壁の絶壁男坂を降りれば、三井製パン舗じゃなくて旧電気街、現ヲタク街たる秋葉原(ほ)。武家屋敷の石垣も残っているけど、もちろん誰も見やしない。相生町練塀町花岡町松永町と小刻みな昔名前を経て、

昭和通りを乗り越えれば藤堂和泉守名

残の和泉町。三井記念病院、隣の金網稲荷は何故か日本通運に縁ある神社。清洲橋通りを渡った先が、目指すワイルド珈琲って寸法(へ)。二百グラム五百二十円のオリジナルフレンド豆を買って、14730歩のワイルド買物終了。





高級句誌  
俳人同様  
Haijin Doyo  
三朝庵梅里・筆  
SAN CHO AN BAI RI



景気良くなる任せとけ、それは呑気な言い分で、青息吐息の日本国、薄い財布に分厚い暗雲、業績予想も乱高下、不整脈たる折れ線グラフ、睨む人々集結す、その名も高き兜町、永代通りに平成通り、大小ビルが林立し、肩で風切る証券マン、勝って兜の緒を締めて、いるかどうかは知らないが、平日昼間の喧騒も、

去った週末上天気、見上げる扉もシャッターも、軒並み閉じて無言の行、車も人も犬猫も、雀も鳥もない街、生命反応まるで無く、東証アローズ掃除中、工事と掃除の人だけが、あそこに一人ここ二人、トースト旨い喫茶店、本日休業当たり前、ご最良喫茶は更地化し、商売繁昌ばかり聞く、兜神社の神様も、

今日はゆったり骨休み、今日来りや願いが叶うのに、確率高き閑古鳥。外壁タイルも美しい、戦前ビルをじっくりと、鑑賞しても不審者と、見られる懸念皆無にて、坂本公園走るのは、隣の消防隊員で、開いてるのはコンビニと、交番サブウェイゆで太郎、春の日差しを受け流し、海運橋の柳の枝の、緑一層色も濃く、平穩無事な兜町、ゴーストタウンを独り占め。

春だけは右肩上がりの兜町 梅里

戦火越え今饗樂と第一線



近寄れど意外とソースの白いなく



日曜日的兜町の旅

シャットダウン生命反応植木のみ



生臭い願い事無き日曜日





# 南大塚萬重宝

ミナミオオツカヨロズ

チョウホウ

## 大塚四方山話

ユキちゃんは何でも先生に聞く

「おはよう先生、暖かい！」  
「ついこの間は寒かったのにね、おはようユキちゃん」  
「雪が降ったかと思ったら、一気に花粉症レベルまで暖かくなったり、季節感ホロホロね」  
「今度は三月に雪が降ったりしてね、天気も狂ってる」  
「いよいよ地球もお終いか…」  
「いやいやユキちゃん、数十年、百年単位で見ても分からないよ地球のことは、せめて千年出来れば一万年単位で考えないと、自然の変化は解明できないと思う」  
「わっ、急に偉そうだし」  
「人間の一生や、人間が作った町の歴史なんて、地球規模で見たら無いに等しいんだよ」

「はいはい、仰る通りでございますわ、フフフ」  
「薄ら笑いはい止めなさいって」  
「けどお腹の中では大爆笑」  
「まっ、馬の耳に念仏だね」  
「アタシは千年じゃないけど」  
「そういや大昔、大塚の町を馬車が走ってた話、ユキちゃんにしたっけ？」  
「聞いたような聞かないような、忘れたような…けど、いつの時代の話なの？」  
「ハハハ、私だってそんな年じゃないよ。そうだな、せいぜい五十年か六十年くらい前のことかな」  
「そうなんだ、アタシは江戸時代かと思った」  
「SLだって走ってた大塚だ」  
「キツネやタヌキもいたんじゃないの？」  
「いたねえ、蕎麦屋に…」  
「タヌキは目の前に…」  
「よく聞こえなかったけど？」  
「南口の都営住宅下にあったお蕎麦屋さんが閉まっちゃったなあってね」  
「ああ休業って書いてあった」  
「その斜め向かいの武蔵野うどんは閉店だって」  
「大塚初の武蔵野うどんだったのに、残念だよな」

「フーメン屋さん閉店しても驚かないけど、蕎麦うどんは結構困るわ」  
「老舗の丸安閉店以降、減ることばあっても増えないな」  
「増えるのは整体マッサージ店ばかり」  
「いきなりステーキの二階ね」  
「パリス吉祥寺っておばさん服屋の次に来たのももそう」  
「KKベストセラーズの北口のビルは、スポーツジムっぽいのが入ったね」  
「しかも二十四時間営業」  
「真夜中に焼き肉も食べられて、トレーニングも出来る街って、相当謎だなあ」  
「これだけ出入りの激しい街だから、なんでもありさ」  
「それにしてもサンモール大塚の荻村の跡に入ったイタメシ屋は、結構短命だったね」  
「名前を憶える間もなかった」  
「と思ったら、あつという間に炭火焼きバルがオープン」  
「サツと現れてサツと消えて、跡形もなかったように次のお店がお目見えする」  
「アジャブのような感じ」  
「日高屋の隣の焼き鳥屋もい

つの間にかね」  
「日高屋はさ、南北に一軒ずつあるけど、雰囲気違つよ」  
「同じチェーン店なの？」  
「明らかに南口は飲みが多いの。たいがい朝でも飲んでる人がいるもんね」  
「そう言われると北口店は、純粹食事な人を多く見掛ける」  
「さすがの豊川も開くのはお昼だから、朝飲みは日高屋へ」  
「で、ユキちゃんも御用達と」  
「アタシも朝は飲みません！」  
「じゃあ、そういうことで」  
「黙れえ！でもアタシが一番驚いたのはなのは、オレンジスタジオがなくなること」  
「ああ、北口商店街の小さな雑居ビルにある練習スタジオだね。でもユキちゃん、バンドやってたっけ？」  
「すつと前にガールズバンドをやってたことあるんだ」

「そりゃ初耳だなあ」  
「途中の階に色んなお店が入ってるからさ、エレベーターの中で風俗店のお客さんと鉢合わせしたりね」  
「ダーツバー、焼肉店、寿司屋もあった。で肝心のスタジオの使い心地はどうだった？」  
「アタシたちがやってた頃は、思い切り部屋の音が通路に漏れてさ、でも何だかアバウトな感じで好きだったな。大昔は煙草も飲食もOKだったらしいよ、フフフ」  
「駅前に音楽館が出来た影響もあるのかな？ライブハウスは多いけど、練習スタジオは少ない街なんだ」  
「アタシの青春の思い出が」  
「遠い昔の青春だ」  
「遠い昔だけ余計だったっの」  
「でも今はカフオケで演歌」  
「うくん、否定出来ないし…」

編集後記のようなもの  
相変わらずバタバタ忙ししい発行でスミマセン。銀座千枚でも告知しましたが、四月十二日から二十八日まで、久々の写真展を開催します。会場は築地警察近くのコミュニケーショングヤラ  
リー・ふげん社。配布協力店でもあります。詳細が決定したら、DMと共に御一報致しますので、宜しくお願い致します。★配布協力感謝：千駄木・古書ぼろろう、吉祥寺・ブックスルーエ、雑司ヶ谷・旅猫雑貨店、法善寺横丁・洋酒の店路、築地・ふげん社。